# かけはし

令和元年１１月号
高松市立
男木小・中学校

## 「生まれてきてくれてありがとう」

１０月１７日（木）に県教育委員会が行っている「いのちのせんせい」派遣事業で高松赤十字病院助産師の池田悦子先生に「生まれてきてくれてありがとう」の演題で講演をしていただきました。子どもたちや保護者に生まれてくることの不思議さや大変さを映像や実習を通して、分かりやすく説明してくれました。そして、親はみんな「生まれてきてくれてありがとう」と思っていることや元気に成長してくれることを願っていること、自分や友達を大切にしてほしいと思っていること等を子どもたちに話していただきました。子どもたちも講演を聞いて、親への感謝の気持ちや、自分や友達を大切にしようという気持ちがより強くなったのではないかと感じています。

日々、学校で子どもたちの指導に当たっている私たち教職員は、「保護者の皆様が大切に思っている子どもたちを預かっている」ということをしっかりと認識し、責任をもって関わっていかなければならないと改めて決意させられた講演でした。　　校長　　溝渕　浩二

## 月中行事

１（木）全校集会
５（火）図書館指導員来校
８（金）県学習状況調査（小）
１１（月）諸費集金日
　　教育相談週間（～１５）
１２（火）図書館指導員来校
１３（水）第４回学習の診断
　　えのぐちゃんプロジェクト
１４（木）クラブ活動
１５（金）児童生徒会
１９（火）男木島文化祭
　　ＳＳＷ来校、図書館指導員来校
２０（水）期末テスト発表
２２（金）クラブ活動
２５（月）ＳＣ来校
２６（火）中央図書館読み聞かせ
２７（水）期末テスト１日目
２８（木）期末テスト２日目
２９（金）期末テスト３日目、道徳の日

## コラム　ラクビーワールドカップ

９月 20 日から始まったラクビーワールドカップもいよいよ決勝戦を迎えることになりました。

日本代表の「勇敢なる桜の戦士たち」の活躍は日本中に感動を与えてくれました。そして選手だけではなく、ホスト国の私たち日本人が世界中の人から「日本人の心からのおもてなし」に感動されています。

参加国のラクビー合宿場となった地域での温かいおもてなしは、外国選手たちから「母国にいるようだ。」と感謝の言葉が綴られました。また、選手と一緒に入場するマスコットキッズが、エスコートする国の国歌を覚え、選手と一緒に並んで国家を歌い、試合直前の選手たちに大きな力を与えました。その後、スタンドの日本人サポーターも試合国の国家を覚え一緒に歌う姿へと繋がっていったのです。

３年に１度の瀬戸内国際芸術祭も残りわずかとなり、男木島の方々の温かいおもてなしや自然、作品は、来られた方々に大きな感動と次回の開催への期待に変わったことと思います。

## 生活目標　学習習慣を見直そう

# 学校生活のできごと

## 小学校校外学習

１０月３日（木）小学生が四国村と屋島山上水族館に校外学習に出かけました。四国村ではあいにくの雨でしたが昔の道具や建物、瀬戸内国際芸術祭の芸術を鑑賞することができました。水族館ではいるかショーを見ました。お昼はみんなで楽しく話しながらお弁当を食べました。校外学習を通して子どもたちの仲を深めることができて良かったです。

## 進路説明会

１０月４日（金）中学生が進路説明会にいきました。５校ほどの高校から入試や学校生活について説明を受けました。子どもは真剣に話を聞いていました。入試にむけてますます勉学に励み、残り少ない学校生活を悔いのないよう頑張っていってほしいと思います。

## 学校保健委員会

１０月１０日（木）に学校保健委員会を行いました。保育所の子どもたちと小学生、保護者、教員が参加しました。音楽療法士の先生による「心がつながる～親子のリトミック体操」と題して講師の先生のピアノに合わせてリズムを取ったり親子で体を動かしたりと楽しい時間を過ごすことができました。

## いのちのせんせい

１０月１７日に日本赤十字病院の助産師の先生による「いのちの授業」の講演がありました。いのちの誕生と子育てについて丁寧に話してくださいました。１人１人が、かけがえのないいのちを持っています。自分のいのちも他の人の命も大切にできる人になってほしいと思います。

## 放課後陸上練習

９月後半から小学生が放課後に陸上練習を頑張っています。ハードル走や幅跳び、ボール投げなど様々な陸上種目を体験しました。子どもたちはいつも活発に練習に参加しています。今後も体育活動を通して運動をする楽しさや技術が上達する喜びを感じてほしいと思います。